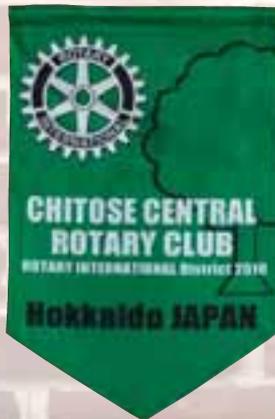


2013-2014 ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

11



国際ロータリー第2510地区 2013-2014年度ガバナー 安孫子 建雄

2013-14年度 国際ロータリーのテーマ

ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES



国際ロータリー第2510地区 2013-14年度 行動指針

- I 大震災復興への支援事業継続
- II R I 戦略計画・財団未来の夢計画の理解と奉仕事業実践
- III クラブの運営を点検し会員の参加意欲向上を図り
会員の維持増進につなげよう
- IV グループ・クラブ間の交流を盛んにし会員の世界を広めよう
対面での交流を基本とし、情報交換にITを活用しよう

CONTENTS

目次	ガバナーメッセージ	1
	世界で良いことをしよう	2
	財団補助金の有効活用に向けて	4
	ご寄付による奉仕活動への参加	5
	地区補助金の現況	6
	地区財団奨学金委員会について	7
	職業研修チーム(V T T)委員会	8
	ロータリー財団月間によせて	9
	被災地陸前高田市の園児においしい水を提供する人道支援(小樽RC)	10
	新世代のための月間によせて	11
	公式訪問報告	12
	新会員のご紹介・訃報・地区組織図の変更について・ クラブ幹事の変更について・米山寄付、ロータリー財団寄付	17
	ガバナー・ノミニー候補者推薦のお願い・文庫通信	18
	地区カレンダー	19
	出席率・会員数	20



地区大会開催お礼 そして11月は財団月間

国際ロータリー第2510地区

2013-2014年度ガバナー **安孫子 建 雄**
(江別RC)

秋は深まり初冬を迎えようとしています。会員の皆さんは Engage Rotary を進行中かと思えます。

10月には地区大会を開催し、多くの方々にご参加を賜り盛会に終えられたことに心から感謝しております。R I 会長代理高成大様はお帰りになってからも素晴らしい大会でしたとお電話を戴きほっとしております。

ホストクラブを始め江別西クラブ、地区の役員の皆様の限りない協力で皆さんに喜んでいただける大会になりました。

月が変わって今月はロータリー財団を考える事となっております。

1917年、アーチ C. クランフ R I 会長が

「世界でよいことをするために」 (Doing Good in the World)

基金の設置を提案。この基金が1928年に「ロータリー財団」と名づけられて国際ロータリー内の新しい組織となり、現在のロータリー財団に至っています。2012年6月30日現在、累計30億ドルの寄付、1947年以来28億ドルをプログラムに支出しています。

本年度から未来の夢計画が全地区で始まりました。2017年にロータリー財団は100周年を迎えます。この100周年を迎えるにあたって、ロータリー財団をもう一度見直しを行ない、時代のニーズに合ったものに変えていこうと言うのが、2013-14年度からスタートするロータリー財団の未来の夢計画です。

未来の夢計画によってロータリー財団は、私たち全てのクラブのための財団になります。今までのように財団独自のプログラムを消化すれば良いと言う事から大きく変化します。つまりロータリアンの為の財団に変わる訳です。プログラムも各クラブのロータリアン自らが創造し、且つ、自らが活動するものになると言っても良いと思います。

公式訪問においてクラブでの新システムの理解は進んでいないところがあり、今後地区の財団委員会と連携を進め、効果的な事業への転換を進めて戴きたい。

さらにクラブまたはグループと地区のアイデアによる事業の展開を諮って戴きたいと考えます。

せっかくの寄付がどのように使われ世の中に役立っているかを知ることと、補助金を効果的に活用して戴きたい。

世界全体での寄付を年間180,000千\$として120万人会員で単純に割り算しますと150\$になります。我が地区の寄付は330千\$を2,600人で割りますと127\$です。

年次プログラム基金の寄付を毎年一人100\$を少しずつ上げ、かつポリオプラスやベネファクターなどもお願いしていかなければと考えるところですので、皆さんのご協力を願います。



世界で良いことをしよう

地区ロータリー財団委員会

委員長 **遠藤 秀雄**
(登録RC・PG)

表題はロータリー財団の標語です。

御存知のとおり国際ロータリーは互恵取引と親睦を最初の綱領として1905年に発足していますが、1907年に第3の綱領として社会奉仕の理念を提唱しています。1917年社会奉仕を継続するために「ロータリー基金」を立ち上げ、1928年にその名称を「ロータリー財団」に改称しました。1931年に信託組織となり、1983年米国イリノイ州の法令の下に非営利財団法人となりました。法人会員は唯一国際ロータリーのみであり、ロータリー財団の名称は「国際ロータリーのロータリー財団」であります。

1947年ポール・ハリスが亡くなると、その死を悼み、会員からの寄付金がロータリー財団に寄せられ、1948年6月には基金が100万ドルに達しました。その後も着実に基金は増えて、その財団を通じてロータリーの奉仕プログラムが活発になったのです。

ロータリー財団の目標と地区活動計画（2013～14年度）

財団目標

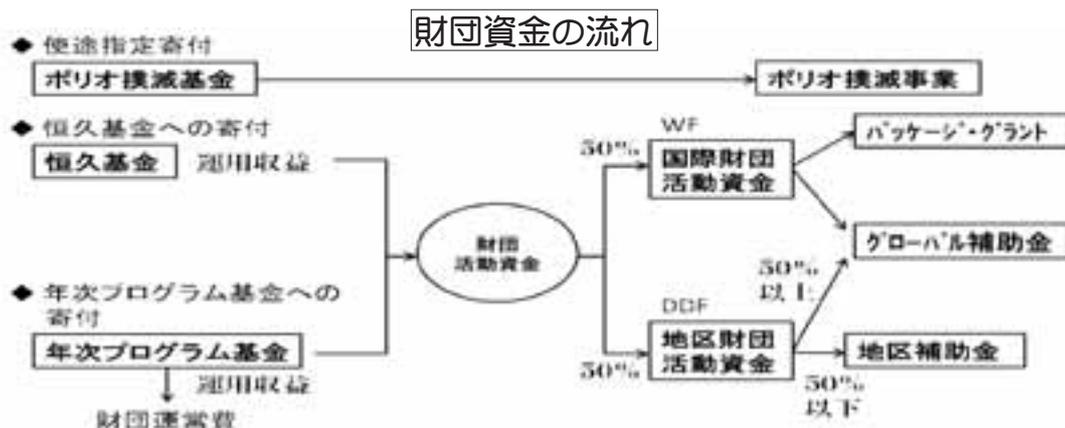
- (1)ポリオの撲滅の達成
- (2)新しい補助金モデル（未来の夢計画）の導入を成功させる。
- (3)より公平で平和的な世界を築くため、革新的なプロジェクトと創造的なパートナーシップに参加すること。
- (4)ロータリー財団が私たちの財団であるという自覚と誇りを築くこと。

地区計画

1. ロータリー財団の目標達成に全面的に協力する。
2. 「毎年あなたも100ドル以上を」を目標にする。
3. 年次基金への寄付の地区目標は33万ドル以上を目標にする。
4. ロータリーカードの入会にご協力いただきたい。

シェア・システム

1. ロータリー財団管理委員会は地区が最大限プログラムに参加できるように資金の配分に関するシェア・システムを開発しました。
2. ロータリアンは世界中のロータリアンとその資産をシェア（共有）する。



3. 財団管理委員会は意思決定の権限の一部を地区にシェア（分与）する。
4. ロータリアンは財団を通じて世界中のロータリーをシェア（共有）する。

その結果1990年10月からDDF60%、WF40%にシェアしましたが2003年7月からDDF50%、WF50%に変更しています。また、ある年度に寄せられた寄付金はその3年後に使用が可能になるとされています。

未来の夢計画

2017年がロータリー財団創立100周年になります。それに向けて財団管理委員会は奉仕活動分野において、財団が時代にあった存在であり続けるために改革を進めたいと考えて計画をしました。2010年7月から世界100地区（日本では6地区）のパイロット地区で実施され、その結果良い方向性が得られたとして2013年7月から全地区で実施されました。

目的は「ロータリー財団の使命に沿って、世界の優先的なニーズに取り組み最大の成果をもたらす」という大変野心的なものになっています。

1. 財団の使命に沿ってプログラムと運営を簡素化すること。
2. ロータリアンが関心を寄せて、世界の優先的ニーズに取り組むことによって最大の成果が期待できるロータリアンの奉仕活動に焦点を絞ること。
3. 世界的目標と地元の目標の両方を果たすための資金を提供すること。
4. 意思決定権をさらに地区に移行することによって、地区レベルとクラブレベルでロータリー財団が自分たちのものであるという自覚を高めること。
5. ロータリー財団の活動に対する理解を深め、ロータリーの公共イメージを高めること。

柔軟性を備えた新しいモデルは、各種手続きをオンラインで行うことができます。また、従来の人道的プログラムと教育的プログラム

といった分類ではなく、補助金は「地区補助金」、「グローバル補助金」と「パッケージ・グラント」の3種類となり、地区補助金は地区が責任を持って奉仕活動に意思決定権を持つこととなります。そのことは、クラブと地区での補助金の管理に関する義務が増えるとともに、資金交付の透明性・公平性及び資金活用後の事業効果の取り纏め、報告が確実に行われることが必須となります。

御高承の通り、ロータリー財団の活動は、会員や法人及び支援者からの寄付金によって賄われています。会員一人一人の寄付行為が世界中の奉仕活動に参加していることをご理解いただきたいと思います。

補助金制度（2013～14年度から実施）

補助金	財源	対象	分野	活動	
地区補助金	DDF	地区	不問	人道的補助金プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・地元や海外の奉仕プロジェクトや渡航費用 ・一回限りの小規模プロジェクト ・実施地はロータリーの存在の有無を問わない
				奨学金	<ul style="list-style-type: none"> ・高校・大学・大学院・専攻は、不問 ・奨学金額に制限はない ・学校は国内外いずれも可
				職業研修チーム	<ul style="list-style-type: none"> ・共同提唱や海外クラブ・地区との協力といった要件はない ・人数や期間の制限がない
グローバル補助金	DDF/WF	ロータリー財団	4つの重点分野に限る ①平和と紛争予防／紛争解決 ②疾病予防と治療 ③水と衛生 ④母子の健康 ⑤基本的教育と職業平向上 ⑥経済と地域社会の発展	人道的補助金プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・従来同様、地区・クラブが実施するプロジェクト ・2カ国以上のクラブや地区が参加する ・ロータリーが存在する海外における事業 ・長期にわたる大規模プロジェクト ・持続性のある成果が上がるプロジェクト ・活動資金が3万ドル以上のプロジェクト
				奨学金	<ul style="list-style-type: none"> ・重点分野のうち一つ以上に関連する大学院又は相当するレベル ・1～4年の研究に従事 ・海外の受け入れ地区に留学する必要がある
				職業研修チーム	<ul style="list-style-type: none"> ・重点分野で経験や専門知識があり、できれば関連する専門職種が事業に雇用されていること ・チームリーダーの少なくとも1人がロータリアンであること
パッケージ・グラント	WF	ロータリー財団	4つの重点分野に限る	人道的補助金プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・地区やクラブに協力組織が加わり実施するプロジェクト ・重点分野を専門とする団体との協同関係の下で実施され、資金はすべてWFから支給される



財団補助金の有効活用に向けて

地区財団資金管理委員会

委員長 久保田 俊 昭
(札幌RC)

財団関係の地区組織は、2013年度から本格実施する「未来の夢計画」のスムーズな実施に向けて事前に新しく再編成され、「財団委員会」の下に六つの小委員会が設置されました。

当委員会の役割は、クラブに対しての新補助金の効果的活用に向けての指導助言、地区補助金の適正な配分への他小委員会等への提案等であります。

クラブや地区が地域密着の奉仕プロジェクトや国際奉仕活動を展開する上で、皆様方の善意による浄財(寄付金)を効果的に活用するためにも、公正・適正な配算と厳正な執行に留意していかねばなりません。ご不明な点がございましたらお問合せを頂きたいと存じます。

これまでに地区財団関係の各小委員会で、「未来の夢計画」の本実施に向けて各種準備を進めてきた結果、財団活動を分かり易く解説した冊子の編纂や補助金活用(地区補助金、奨学金、職業研修等)に際してのセミナーを開催して、クラブの皆様へ指導助言を行なって参りました。

なお今後、クラブが地区補助金を活用するためには、①補助金管理セミナーの受講、②補助金授受の専用銀行口座の開設、③クラブでの補助金活用管理の徹底、④補助金活用に関する所用書類の一定期間の保存、⑤クラブ覚書(MOU)への同意署名等を行なうことが義務付けられております。

今後、地区としては、クラブが地域で主体性を持って自主的な奉仕プロジェクトを実施していくうえにおいて、その調査・計画作りや、地区補助金活用に向けての事務手続き等を進めるうえでの協力支援を適切に行う所存であります。

クラブにおかれましては、奉仕活動の準備・計画提出(計画年度)と、実施・報告(実施年度)の2年一区切りが業務サイクルとなります。即ち、地区補助金の申請を計画年度に、実施・報告を実施年度に行なうこととなりますので、クラブの組織・業務体制をこれに対応できるように検討し、体制整備を行って頂きたいと存じます。

なお2013-14年度における当地区への地区財団活動資金(DDF)としては、8万ドルであります(当地区の2010-11年度の年次寄付金総額は約32万ドル)、その内、地域奉仕活動へは二分の一の4万ドルを配算し、あと二分の一の金額を奨学金、職業研修、国際奉仕活動、東日本災害復興プログラムで活用することにしておりますので、ご理解を賜りたいと存じます。

私共が奉仕活動をさらに強化して実践していくためには、奉仕活動プロジェクトの中身の充実と資金面での支援が共に力を発揮することによって、素晴らしい成果が生み出されることを確信しており、クラブからの積極的なご提案をお待ちしておりますので宜しくお願い申し上げます。



ご寄付による奉仕活動への参加

地区財団資金推進委員会

委員長 鍋谷操子
(函館セントラルRC)

当委員会は、今年度から本格実施した財団の「未来の夢計画」に先駆けて新設されました。当委員会の役割は、地区の募金活動の方策を監督し、クラブが年次基金と恒久基金への寄付目標を設定してこれを達成できるよう支援することです。今後、会員皆様のご指導・ご支援を賜り、重責を果たして参りますので、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

1917年の国際大会で、当時のR I会長のアーチ C. クランフが、ロータリー基金の創設を呼びかけましたが、それに呼応して、翌年、カンザスシティーRCが26.5ドルを基金に寄付しました。これがロータリー基金にとっての最初の寄付金であります。

私達が、地域社会や国際社会で奉仕活動をさらに強化し増大していくためには、奉仕活動の充実と資金面での援助が必要であります。2001年規定審議会では、「毎年1人当たりの寄付を100ドル」にする決議が採択されました。さらに2004年規定審議会では「Every Rotarian Every Year (毎年あなたも100ドルを)」が採択され、1人1人が、毎年、寄付をして欲しいということが決議されております。

当地区としては「毎年あなたも100ドル以上」を寄付することを目標に掲げ、さらに会員数から推して年次寄付の目標を33万ドルとしています。皆様のご理解によりここ数年間はほぼ目標を達成しており、深く御礼申し上げます。

また、寄付金としては上記の年次寄付以外として、恒久基金、指定用途寄付、ポール・ハリス・ソサエティー等へのご協力についてもお願いしておりますが、理解が今一步のところであることが残念なことであります。

財団では他の奉仕団体とは異なって全ての寄付を奉仕活動に使っており、財団の運営費等は皆様からの寄付を運用した運用益から賄っております。また、ロータリアン一人一人からの寄付は、世界中で有効に使われており、寄付をするということは、世界中の奉仕活動に参加しているということをご理解頂きたいと存じます。

なお、財団への寄付に対しては、寄付者に分かり易い形で、寄付行為に感謝の念を表す「認証」があり(寄付者とすぐに分かるように着用できるピンなどを寄付者に贈る)、個人や法人の寄付に対して、税制上の優遇処置を講じることができるようになっております。

社会経済情勢が先行き不安定で、景気回復の兆しが若干ながらみられるなか、財団へのご寄付をお願い申し上げますことは誠に心苦しいことではあります。世界平和の達成・維持に向けてのご支援・ご協力を深くお願い申し上げます。



地区補助金の現況

地区財団補助金委員会

委員長 中山裕視
(札幌真駒内RC)

今年度から補助金制度が変わりました。ロータリー財団の未来の夢計画に基くものです。大口補助金としてのグローバル補助金、小口の補助金として地区補助金があります。

そしてパッケージ・グラントという補助金の3種類があります。パッケージ・グラントを実行しているクラブは第2510地区ではまだありません。グローバル補助金は現在、奨学委員会で実行中です。

地区補助金について現況をお話します。地区補助金はDDFの50%が財源になります。しかしその約半分が国際奉仕委員会、職業研修チーム委員会、奨学金委員会や震災復興にかかわる活動の使途に使われます。ですから地区補助金の財源はDDFの50%の50%になります。日本円にして約400万円です。

今回地区補助金は34クラブから申請がありました。申請金額は約1200万円でした。7月18日、8月22日、10月3日と3回委員会を開いて審議しました。1回目と2回目で、委員全員で多くの意見を交わし、深く話し合いをして煮詰めました。その結果、残念ながら7件の申請が補助金対象活動として認められませんでした。また、補助金の財源が限りのあることと申請クラブが多数あることで公平の観点から支給額は最大30万円を限度としました。

9月中に委員会の結論を全申請クラブの担当者と話をしました。申請が認められない理由や支給金額等々についていろいろと話をしました。それぞれに不満はありながらもそれなりの理解をいただいていたと思っております。

10月3日に委員会を開催して各クラブの補助金支給額を決定しました。これからロータリー財団に補助金支給総額を請求します。年内には各クラブの補助金専用口座に入金される予定です。

補助金を受領する各クラブは年度最終月（6月）までに報告書の提出（領収書、通帳のコピー、活動状況写真を添付して）をガバナー事務所まで必ずお願いいたします。



地区財団奨学金委員会について =財団奨学生の留学=

地区財団奨学金委員会

委員長 齊藤博司

(千歳セントラルRC)

ロータリー財団は、世界に目をむけた青少年及び社会人に対して、留学と云う手法で援助し、またその経験・知識を地域に還元してもらいたいと考え、当委員会が存在しているものと思います。

本年度からスタートした「未来の夢計画」のプログラムにのっとり、本地区（本年度）では、地区補助金を利用する者とグローバル補助金を利用する者との2つの留学生派遣制度になりました。募集人数はそれぞれ若干名を募集いたしました。

地区補助金（文化研修）によるものの対象者は、原則として当地区内に職場および住所がある者で社会人を中心に選考しております。本年度につきましては、3ヵ月文化研修に対しては6,000ドル、6ヶ月文化研修には10,000ドルを支給しております。

留学生の派遣までの流れとしては、募集をかける（当地区内のロータリークラブ推薦必要）、1次選考・2次選考と進んで行き財団委員長をまじえた最終面接選考で奨学生が決まります。この時点では、まだ「財団奨学生候補者」と云う名称しかありません。その後、財団委員会および当委員会のオリエンテーションなどを数回かさね晴れて留学先への研修にいけるのです。その間は当地区奨学金委員会・推薦ロータリークラブと留学先ロータリークラブ・ホストファミリー等との連絡を密にしておくことは云うまでもありません。留学派遣の時期については、適宜にしております。ちなみに、本年度は11月以降になります。

次にグローバル補助金を利用しての留学についてですが、大学生（大学院生）を対象者とし、選考までは地区補助金を利用しての文化研修者と同様の過程を経て「財団奨学生候補者」となります。留学は1年間とし、30,000ドルが支給されます。

留学先の新学期のスタートがおおむね9月からのものが主流を占めているため、留学は翌年の7月以降にずれ込むこととなります。従って、当年度1年間の間に本人・推薦ロータリークラブ・当委員会などで計画を練り、留学先の受け入れ教育機関（大学など）およびその地区の受け入れロータリークラブ・ホストファミリーとの連絡・関係を密にしなければなりません。また、ロータリー財団に対しても審査を受け、受理されなければなりません。

なお、次年度の募集については、5-6月には募集を終了し、選考に入りたいとおもいます。

以上が当委員会の事業となっております。





職業研修チーム（VTT）委員会

地区職業研修チーム委員会

委員長 神 部 洋 史
(滝川RC)

ロータリー財団が提唱した「未来の夢計画」では、事業計画を作成するにあたって、「5つの優先事項」と、「6つの重点分野」を掲げています。職業研修チーム(以下VTT)委員会も地区財団委員会を構成している一つですので、その活動については地区財団委員会から割りふられた補助金で予定を立て、実施することが前提になっています。

かつてGSEの頃は交換事業でしたので、相手地区さえ決まれば話を煮詰めて、ある程度の実施内容が決まり、双方の理解が得られれば、それをロータリー財団に報告することでほとんどの作業がスムーズに進みましたが、今年から始まった未来の夢計画では、活動に使える補助金制度が変わり、とくにこのVTT委員会が行う活動には、地区補助金、グローバル補助金、さらにはパッケージ・グラントも使用可能な制度となっていますが、逆にこのことが最大のネックになっていることも事実なのです。

地区の裁量だけで使用できる地区補助金で事業が賄える場合は、あまり難しい課題はないのですが、限られた予算の確保しかあてにできません。当地区では、この地区補助金は主に社会奉仕に使用するために各クラブに配分することになっていますので、VTTでの使用は不可能です。しかしこのVTT事業についてはグローバル補助金やパッケージ・グラントを使つての事業の実施も可能とされています。ただ、この場合も実は問題があります。

グローバル補助金やパッケージ・グラントを使つて行う場合は、その前提になっている「6つの重点分野」と「グローバル補助金の使途内容」の一部の規制が『足かせ』となって動きが取れなくなつてしまい、「様子見」を決め込んでいる地区も多いと聞いています。

6つの重点分野とは、①平和と紛争予防／紛争解決、②疾病予防と治療、③水と衛生、④母子の健康、⑤基本的教育と識字率向上、⑥経済と地域社会の発展となっています。

2カ国以上のクラブまたは地区が参加する国際プロジェクトのみが対象で、ロータリークラブが存在する国および地域のみという点では最貧国や地域は対象ではなく、Host Sponsor（プロジェクト実施地のクラブまたは地区）と、International Sponsor（海外の援助提供クラブまたは地区）の両者が必要で、「持続性のある成果を挙げ、かつ、その成果を測る」ことができる(検証できる)ことが、グローバル補助金を使つての活動の条件になっています。したがって、それに見合う事業を模索しても、相手国に何が必要なのかを確かめるためには、直接相手国に行って現地の状況を把握することが最低必要条件となつてしまう可能性さえあります。交換事業ではないので、相手国の職業研修をしたり、逆に相手国から職業研修を受けるVTTという一方向の制度になっています。また1件当たりの補助金額は、ミニマム15,000ドルで上限は20万ドルという、途方もない金額設定のため、簡単に事業を考えるのは到底不可能で、当面静観すると言わざるを得ないと委員会では判断していますが、お隣の第2500地区では既にグローバル補助金を使つてのVTT派遣を終えており、他地区の実績などを調査しながら、実施に向けて検討を重ねていく所存です。



ロータリー財団月間によせて

地区財団学友委員会

委員長 菅原 秀二

(札幌大通公園RC)

財団学友委員会は、国際親善奨学生とGSEの経験者で組織される財団学友会の活動に対する助言と支援を行う委員会です。それによって、財団学友のロータリー活動への参加を促し、逆に財団学友に対するロータリアンの理解を促進することを活動の目的としています。

以下、本委員会の活動内容についてご紹介します。まず、恒例の帰国報告会が、2013年2月2日に開催されました。これには最後のGSEであるミュンヘンへの派遣チームの報告と2名の国際親善奨学生の帰国報告を戴きました。写真は出席者による集合写真です。

ガバナーやガバナーエレクトをはじめ、スポンサークラブの方々を中心に多くのロータリアンが出席して下さいました。この場を借りて御礼申し上げます。

また、米山学友会からも役員の出席を戴き、今後とも財団学友会との交流を深めていくことが確認されました。今年度も、帰国した国際親善奨学生の帰国報告を中心に、2014年2月1日(土)に札幌第一ホテルにて開催予定なので、関係のロータリアンのご出席をお願いしたいと思います。



また、例年のように地区大会では、本委員会と財団学友会によって、ブースが設営されました。もう一枚の写真は、そのブースの展示の様子を示したものです。さらに、学友会ニュースレターの発行への支援や例会での学友による卓話の紹介も積極的に実施していきます。もし、世界理解月間などでの卓話のご要望があれば、本委員会までお寄せ下さい。財団学友には国際親善奨学生として、あるいはGSEのメンバーとして、国際経験豊富な人材がそろっていますので、是非、ご利用戴ければ幸いです。もちろん日本ロータリー学友会との交流や学友のロータリークラブへの入会の促進も継続して行っていきます。

今年度から新奨学金の募集が行われ3名の奨学生候補者が決定しました。財団学友委員会は新奨学金の制度に十分対応できるよう、財団学友会に対して積極的に情報を提供し、その協力のもとに、オリエンテーションなど後輩への指導体制を構築していく所存です。職業研修チームの派遣の際にも、協力していきたいと考えておりますので宜しくお願いします。



最後になりましたが、財団学友会10周年記念事業である『黄金の歯車』の翻訳も、本委員会と札幌セントラルRCの後援のもとで順調に進んでいます。完成の際には、皆様への紹介も兼ねて盛大な出版記念パーティを企画する予定ですので、ご期待下さい。

「大震災復興支援及び現地視察」 被災地陸前高田市の園児においしい水を 提供する人道支援

小樽ロータリークラブ

奉仕プロジェクト委員長 坂田道昭



東日本大震災が当クラブの熊澤ガバナー年度に向けての大切な会議である2011-12年度会長エレクト研修セミナーの前日に発生して以来、復興支援は小樽ロータリークラブの奉仕の大きなテーマになりました。

昨年、山田町（冬季用雨合羽支援、船越小学校への紅白垂れ幕、一輪車支援）に引き続き支援プロジェクトを本年度もプロジェクト委員会担当としましたが、本年度は当クラブの創立80周年記念の年にもあたり、記念事業の一環として行われる事になりました。

今回の奉仕活動については、岩手の盛岡中央RC、盛岡西RC、小樽RC、3クラブ共同と協力団体との事業となり、大津波でほとんどのインフラが壊滅的な被害を受けた中、この津波で床上まで海水に浸り水道補給管が腐敗して子供達が飲む飲料水に汚れや悪臭が発生した陸前高田市の社団法人広田保育園に浄水器を寄贈し、園児においしい水を提供する役目を担いました。

保育園が決まらずに若いお父さんお母さんが、働きたくとも働けない状態にあることが多々あると聞き及んで、保育園は復興の原動力の最前線にあり、そこにご奉仕できたことをうれしく思いました。そして何より、岩手のロータリークラブの皆様との交流ができ奉仕の輪が広がったことに喜びを覚え、小樽に帰ってまいりました。

先日当クラブの創立80周年記念式典が行われましたが、本年度奉仕を共にした岩手のロータリークラブの皆様のほか、過年度の震災に対するご奉仕を共に行った東京山の手RC、山田RCの皆様もお祝いに駆けつけて戴きました。

わが小樽ロータリークラブも創立80年の次の新しい10年を迎えるにあたり、そのお礼のお返しをしながら奉仕の輪を広げ、奉仕の理想を求めて行くことができることに、喜びを感じている今日この頃です。



新世代のための月間によせて

札幌東RC国際奉仕委員会

青木 功 喜

Jaime札幌によくいらっしゃいました。

私たちはあなたの1年間の札幌の生活でカナダと日本の文化の違いを多く体験してくれる事を望みます。日本と比較すると米国では多様な文化が共存しているように感じられ、カナダではそれぞれの文化を大切にしたモザイク文化が見られると思いますが、我が国では日本人だけの独特な均一な文化を有しています。

最初の数ヶ月の間は、あなた自身を積極的に表面にださない事をお勧め致します。むしろ日本の人々がどのような生活態度を取るのかを注意深く観察する事をお勧め致します。日本人は謙虚に行動する傾向が強い事が判るでしょう。日本人の行動は単独で行われるのではなく全体の中の自分をよく考えて行動している事は判ると思います。また日本の親や大人は一般的に子供を褒め称えるより子供たちの間違いを指摘し、これを改善しようと致します。

あなたのhost familyやhost schoolでも同じ事が少なくないのであなたは最初は戸惑うと思います。しかしこれらは日本の多くの家庭の子供の躰であり、あなただけに行われた行為ではない事をまず理解しておく必要があります。すなわち日本人は子供たちをよりよく育てより立派な人間に育てるために子供の欠点をあえて指摘するのが躰だと思っています。

無知であるということは、物事を恐れ、分からない物に対してネガティブな感情を持つ原因です。あなたが異なる文化の中で成長する事によって日本とカナダの架け橋になれば素晴らしいと思っています。

どうか札幌の生活を楽しんでください。このような機会はあなたの人生のなかで与えられた最高の機会なのです。

Dear Jaime

Welcome to Sapporo!

I hope you will experience some of the cultural differences between Canada and Japan during your stay in Sapporo. Comparing to Japan, the U.S. combines various cultures; and in Canada, each and every culture is recognized.

The differences can be caused by the fact that Japan is a homogeneous country, but the U.S and Canada are not. For the first several months, I would like to recommend you to not putting all of your effort to express yourself. Rather, I would like you to focus on knowing what types of behaviors are honored and preferred by Japanese people. For example, we have a stronger tendency to pay respect to modesty, and tend to interpret individualistic behaviors are caused by selfishness rather than by independency.

Another good example is that Japanese parents and adults in general tend to point out their children's and young people's behaviors that need to be improved rather than praising them. Therefore, you may be surprised about what you will find in your hosting school and with your host families. In any case, you do not have to be depressed if someone points out things that you can improve. They do not do so to be mean to you, and they do the exactly the same to their own children. They all want the younger generation to be better persons and have better life with higher purposes.

Ignorance is the cause of fear, and the fear can be one of the main reasons for people in different countries to dispute. By educating yourself about different cultures, and this time about Japan, your fear will be gone, and it can lead you to be another young person who can help building a bridge between Canada and Japan. Enjoy your stay and enjoy this once in a life time opportunity for you.

Koki AOKI MD.PhD

公式訪問報告

函館ロータリークラブ

8月29日 (木)

8月29日(木)、当クラブ例会場の五島軒に安孫子ガバナーと石山ガバナー補佐をお迎えしました。

午前10時より、当クラブ会長、会長エレクト、幹事との懇談会、引き続き11時より理事、役員、各委員会委員長を中心に32名が出席してのクラブ協議会にご出席戴き、当クラブの現状と課題、活動計画等についてご講評を戴き、C L P、職業奉仕、クラブ間交流、例会出席の意義など多様な事項について種々貴重なご助言を頂戴しました。

12時半からの例会(会員68名出席)では、当クラブ独自の事業である函R奨学生への奨学金授与や、姉妹クラブ、親睦活動、職業奉仕の各委員会の報告にお立合い戴いたほか、会員へのマルチプル・ポール・ハリス・フェローピンの授与をお願いしました。卓話ではパワーポイントで世界大会、国際協議会等の様子をご紹介戴き、R I会長方針やガバナー方針についてご説明下さいました。

例会終了後の記念撮影に至るまで、4時間ものご滞在を戴き、今後のクラブ運営と活動に関して数々の有意義なご提言を頂戴しました。本当にありがとうございました。任期中は激務が続くものと思いますが、くれぐれも健康にご留意下さい。



北斗ロータリークラブ

8月29日 (木)

8月29日(木)に安孫子ガバナー、今井ガバナー補佐をお迎えして公式訪問が行われた。

例会場である七飯浜の湯(スパビーチから改名)にて、午後4時からの会長・幹事懇談会は、谷内会長・千秋会長エレクト・増田幹事が出席して始まり、主にクラブ運営方針および奉仕活動全般のあり方についての諮問、そして財団補助金の申請について助言をいただいた。

午後5時からのクラブ協議会は、佐藤職業奉仕委員長、渡邊社会奉仕委員長、米塚新世代奉仕委員長、千秋クラブ奉仕委員長、秋田国際奉仕委員長が活動計画を述べ、討議が行われた。その後安孫子ガバナーから講評を含めたご指導を賜り、熱気に満ちた協議会は予定を10分ほど延長して終了した。

午後6時15分から通常例会を行い、安孫子ガバナーからの卓話ではガバナーエレクト研修や国際大会の様相について映像を交えて伺い、午後7時15分に公式訪問の一連の行事は滞り無く終了した。

火曜日から今週5つ目の公式訪問とのことで、さぞお疲れのことと会員一同恐縮の至りと感じた次第である。



函館五稜郭ロータリークラブ

8月30日 (金)

安孫子ガバナーの10、11グループへの公式訪問は、7月の5クラブに続き2度目の訪問で、8月27日から始まり我が函館五稜郭RCには8月30日(金)にお越しいただきました。12クラブ中11番目の訪問だそうです。午前10時からの会長・幹事懇談会、11時からのクラブ協議会、そして12時30分からの例会とスケジュールを消化していただきました。

会長・幹事懇談会には、今井ガバナー補佐とご一緒に15分程前には到着され、その時より懇談というか雑談ともつかぬ和気あいあいとした中でご指導いただきました。

また、クラブ協議会の中では、朝倉会長の進行で五大奉仕始め各委員会の活動計画を発表いたしました。数名の新入会員もありましたので発言の機会を与えたところ、ある会員が、「朝倉会長のこんな真面目な姿を見るのは初めてだ。」と言ったところ、会場は大爆笑、ロビーにいた事務局の女性も「今までのガバナー公式訪問のクラブ協議会で、これほど賑やかな笑い声は初めてです。」と言っておりました。最後の講評をいただいた時には、「こんな楽しいクラブに訪問できて嬉しかった。」と言っていただきました。こんなに楽しいクラブ



だからこそ、会員増強が出来ているのでしょうかとまとめていただきました。

まだ公式訪問は半分とのことでしたが、健康に留意なされてお続けいただければと思います。

三石ロータリークラブ

9月2日(月)

9月2日(月)、安孫子建雄ガバナーと第8グループ武田豊ガバナー補佐をお迎えして公式訪問が行われました。午前10時からの会長・幹事懇談会では、クラブ運営、会員増強等についての話し合いが行われ、ガバナーから人口が少ない地区で会員を増強するには家族参加の親睦会開催や地区の住民との繋がりを強化する活動が大切と助言されました。続いて開催されたクラブ協議会では、各委員長から本年度活動計画の説明後にガバナーから意見と感想を述べて頂きました。その中でクラブを活性化するためには地域の他の奉仕団体との連携、クラブ合同事業、クラブ間の交流等に積極的に取り組む事が大切と話されました。



昼食後、行われた例会での卓話は今年度のテーマや重点目標等についての説明とサンディエゴで開催された国際協議会とポルトガル・リスボン国際大会に出席された時の感想やエピソードについてパワーポイントを用いて話され、私共も興味深いお話を楽しく聞かせて頂きました。公式訪問は終始和やかな雰囲気の中で進行し無事閉会となりました。

浦河ロータリークラブ

9月3日(火)

9月3日(火)安孫子ガバナーと武田第8グループガバナー補佐をお迎えして、公式訪問が行われました。

10時より安孫子ガバナー、武田第8グループガバナー補佐、小関会長、伊藤エレクト、久保幹事との懇談会が開催されました。11時よりクラブ協議会が開催され、各委員長より今年度の計画を発表。安孫子ガバナーは各地のクラブの半数を訪問して感じたことは当クラブも同じで会員の減少が一番の課題であるとのこと、当クラブも会員増強に努めていきます。安孫子ガバナーより、ロータリーの基本を守りながら、地域にあったロータリー活動を、私達浦河ロータリーも同じ考えで身近で今何をできるか、安孫子ガバナーは地域密着的な考えをお持ちな方だと当クラブ会員全員の印象です。初めて身近にお会いしまして大変有意義な時間を共有できありがとうございます。例会終了後浦河町長を表敬訪問をして公式訪問を終了しました。



様似ロータリークラブ

9月3日(火)

9月3日(火)15時45分、会場である「アポイ山荘」に安孫子ガバナー、武田ガバナー補佐をお迎えし、公式訪問が実施されました。1階研修室で、16時から武田ガバナー補佐の進行により、会長・幹事・会長エレクト懇談会を行いました。久野会長から当クラブの特徴や今後の事業計画について説明がなされ、和やかな雰囲気の中で懇談会が進められました。

安孫子ガバナーより各事業、出席率などに関してのご意見をいただき、又地区補助金についてのお話も伺いました。17時より行われたクラブ協議会では、クラブ奉仕委員長・職業奉仕委員長・社会奉仕委員長・国際奉仕委員長・副幹事が加わり、各担当委員長より、本年度の方針と活動計画が説明され、最後に安孫子ガバナーから適切な総評をいただきました。また、クラブ運営については、「家庭と地域に理解を頂けるよう努力してほしい」という教示がありました。18時からの公式訪問例会では、震災復興のテーマソング「花は咲く」をBGMにて出席者で合唱して温かな雰囲気での開会となりました。



安孫子ガバナーより今年度の目標についてご説明があり、リスボンで行われた国際大会の様子をプロジェクターを使用して、貴重な卓話をユーモアを織り交ぜ報告いただき、行き届かない点が多々あったとは思

ますが、公式訪問を有意義に無事終了することができました。そして例会終了後、食事と懇親会を開き、カラオケなどを楽しんで戴き終了いたしました。安孫子ガバナーにはご指導を戴き本当にありがとうございました。

静内ロータリークラブ

9月4日(水)

9月4日(水)、安孫子ガバナーと武田ガバナー補佐を新ひだか町公民館にお迎えして公式訪問が行われました。

10時からの会長・幹事懇談会では、市毛会長、荒川幹事の他、福嶋会長エレクト、大森副幹事、細川直前ガバナーも同席させていただき、静内RCの新しい取り組みとしての高校生向け就職模擬面接の実施についての質疑応答や会員増強等についての意見交換を行いました。また、地区大会準備についての資料等の引き継ぎについての謝辞をいただくとともに、準備等についての意見交換を行いました。



11時よりクラブ協議会を開催し、静内RCの5大奉仕の各委員長から活動方針や実施状況等を安孫子ガバナー及び武田ガバナー補佐へ報告いたしました。安孫子ガバナーより丁寧な講評をいただき、また武田ガバナー補佐より寸評をいただきました。静内RCの今後の活動に多いに生かして行く事が出来ると思います。

12時30分からの例会では、安孫子ガバナーよりプロジェクターを用いて卓話をいただきました。国際協議会の様子やリスボンの国際大会の様子などを写真を交えてお話いただきました。

例会終了後、地元の静内高校と静内農業高校、新ひだか町役場を表敬訪問していただき、無事公式訪問を終了いたしました。

静内RCを訪問していただいた安孫子ガバナーには感謝いたしますと共に、地区大会での再会を楽しみにしております。

えりもロータリークラブ

9月5日(木)

会長・幹事懇談会では、クラブ運営や会員増強について御教示いただきました。

クラブ協議会では、各委員会の活動計画についての講評をいただくと共に活動方法について御教示いただきました。

例会でのガバナーの卓話は、プロジェクターにより、ロン D. バートン会長の紹介や、今年度のR Iのテーマや協調事項などを熱く語っていただくと共に、ガバナーが出席された国際協議会や国際大会の模様を紹介していただき、出席した会員は大変感銘を受けたところであります。



終わりに、10月19・20日の地区大会の成功を祈念申し上げますと共に、ガバナー職は激務でもありますので、御自愛の上、益々の御活躍を御期待申し上げます。公式訪問有難うございました。

洞爺湖ロータリークラブ

9月9日(月)

9月9日(月)に、安孫子ガバナー、石井ガバナー補佐をお迎えして公式訪問が行われました。

午前中、会長・幹事懇談会、クラブ協議会の中では、やはり当クラブの会員数が、8名ということで、会員増強に意見が集中しました。その中で安孫子ガバナーから、色々な貴重な意見をいただきました。

午後からは、食事例会で、ガバナーからの映像提供で、国際大会等々で楽しませていただきました。

また、例会終了後、真屋洞爺湖町長に、安孫子ガバナー、石井ガバナー補佐、当クラブの秋田会長、黒川幹事と表敬訪問を行い、洞爺湖町と、安孫子ガバナーの意外な接点があったことがあり話が弾みました。



ガバナーには、是非また来町していただきたいと思います。公式訪問、本当にありがとうございます。

伊達ロータリークラブ**9月10日 (火)**

安孫子ガバナーと石井ガバナー補佐、石田補佐幹事をお迎えして9月10日ガバナー公式訪問が行われました。午前10時より会長・幹事懇談会が行われ、浅水会長から、当クラブが今年度から開始したCLP導入による委員会構成及び担当理事制度、フェイスブックの活用、長流川のサンクチュアリ化等について説明いたしました。11時からクラブ協議会を行い、理事・役員・リーダー出席のもと各委員会より活動計画が発表され、ガバナーから懇切丁寧な講評がありました。



その後、12時30分より例会が行われ、安孫子ガバナーからプロジェクターを使用した卓話を頂き、サンディエゴでの国際協議会の模様、会員増強や年次寄付額の目標、複数のクラブ間の共同事業や会合の必要性、地区補助金の交付状況等詳しく解説されました。安孫子ガバナーの気さくなお人柄もあり終始和やかな雰囲気です。沢山の有意義な卓話を頂き会員一同心より感謝申し上げます。

室蘭北ロータリークラブ**9月10日 (火)**

9月10日(火)15時、安孫子ガバナー、石井ガバナー補佐、石田ガバナー補佐幹事をお迎えし室蘭、室蘭東、室蘭北、3RC各会長合同で青山市長を表敬訪問いたしました。地域のことでいろいろと意見交換をされておられました。その後、当クラブの例会場でありますサンルート室蘭に移動し16時より会長、幹事、エレクト懇談会を行いました。その中で、当クラブの現況と今後の計画などを説明し又、楽しい例会作りや会員増強についても意見交換をさせていただきました。



17時よりクラブ協議会に入り、各委員長から今年度の活動計画を発表しその後、安孫子ガバナーより講評をいただきました。各委員長が報告している中、一つ一つ丁寧に細かくメモを取っているのが印象的でした。時間も大幅に超過し20分遅れで例会が始まりました。安孫子ガバナーの卓話があり、国際協議会のスライドを拝見させていただき又、ロータリークラブの運営方針についてもお話いただきました。食事では夜間例会という事もあり、お酒が入り終始和やかな雰囲気です。例会を終了いたしました。

公式訪問も大変有意義に終わり会員一同感謝いたしております。又地区大会でお会いできるのを楽しみにしております。ありがとうございました。

室蘭東ロータリークラブ**9月11日 (水)**

安孫子ガバナーは9月10日(火)伊達、洞爺湖ロータリークラブの公式訪問を終えた後、室蘭市内ロータリークラブ会長と共に市長との訪問を終え、9月11日(水)に当クラブに安孫子ガバナー、石井ガバナー補佐をお迎えして公式訪問が行われました。午前10時より会長・幹事懇談会が行われ当クラブに於ける会員数の現状や会員増加の進め方又各活動、行事等を説明をし活発な意見交換をいたしました。



11時から当クラブ5大奉仕委員会の理事が出席し委員会別に活動方針等を説明し、ガバナーより特に会員数の減少での各行事等は第9グループでの共同行事として運営と講評を受けました。

12時30分よりの当クラブ例会に出席されガバナーがスライドを見せながら会員にガバナーの方針などを説明等をされ、又当日は当クラブ新入会員に安孫子ガバナーがロータリーバッジの授与を行なって戴き、新会員はもとより当会員も貴重な体験との事で感謝致しました。

最後に安孫子ガバナー、石井ガバナー補佐と一緒に記念撮影をし公式訪問を終えました。

登別ロータリークラブ**9月11日 (水)**

9月11日(水)、安孫子建雄ガバナー、第9グループ石井憲一ガバナー補佐をお迎えして、ガバナー公式訪問が開催されました。

午後4時から鈴木会長、高田会長エレクト、中牧幹事出席により、懇談会が開催されました。当クラブ現況を会長が説明し、会員の拡大、出席率の向上等の課題や、奉仕活動の取組みについての話を致しました。特にCLPの活用についてアドバイスを頂きました。又、急遽公務の合間をぬって出席いただいた登別市小笠原市長を交えてのロータリーを通じての情報交換、懇談もできました。午後5時からのクラブ協議会では、各委員長より事業計画及び方針の発表がありました。午後6時からの例会では安孫子ガバナーより、パワーポイントを使って、地区の目標や国際協議会の様子を写真を交えてお話し頂きました。終了後の懇親会では、遠藤パストガバナーと共になかなか聞く事が出来ない国際協議会の詳しいお話しをして頂きました。和やかな雰囲気の中で楽しい一時を過ごす事が出来ました。

安孫子ガバナーにおかれましては、お忙しい中ありがとうございました。

**室蘭ロータリークラブ****9月12日 (木)**

9月12日(木)、安孫子ガバナーをはじめ、石井ガバナー補佐、石田ガバナー補佐幹事の3名による当クラブの公式訪問が行われました。午前10時からの会長・幹事懇談会では、会長、幹事からクラブの現況、課題と会長クラブ運営基本方針を説明いたしました。引き続きクラブ協議会では昨年度から組織集約した4常任委員会の各委員長と各実行責任者から活動計画、実績を説明いたしました。これらの説明に対して、安孫子ガバナーより「ロータリーの変革と実践の中で、各奉仕活動の横の繋がりも大切にし、ロータリーに入って良かったと言えるクラブをめざしてもらいたい」等のご講評やご指導を頂きました。

公式訪問例会では、安孫子ガバナーより国際協議会でのいろいろな方との絆ができた貴重なご体験と、今年度のR I会長テーマ、地区目標など判りやすくご講演いただきました。最後に、安孫子ガバナーを囲んで記念撮影を行い、公式訪問例会を終えました。

**当別ロータリークラブ****9月17日 (火)**

9月17日(火)安孫子ガバナー、大竹ガバナー補佐、北野ガバナー補佐幹事をお迎えし、公式訪問例会が開かれました。

クラブ協議会では地域に根ざした奉仕活動を評価され、特にマナーキッズテニス等について興味深く聞いていただきました。

例会卓話ではサンディエゴで行われた国際協議会での様子をパワーポイントを用いながらご説明いただきました。世界から532人のガバナーエレクトが一堂に会しての1週間の研修は、ロータリアン人生の中で貴重な経験となったことがうかがえました。

最後に「全てのロータリアンが人生の大半をロータリーに捧げることは難しいが、ロータリーの心を持って毎日を過ごすことは可能です」という言葉で締めくくられました。「今日はロータリーで奉仕をする日」というのではなく、日常の中にロータリーがあることを再確認させていただきました。



新 会 員 の ご 紹 介

(敬称略)



芦別RC
高松 孝一
入会日 7月4日
職業分類 貨物自動車運送



芦別RC
川本 雅章
入会日 8月8日
職業分類 ホテル・旅館



千歳RC
山中 正一
入会日 8月29日
職業分類 土地家屋調査士



砂川RC
染谷 昇
入会日 9月1日
職業分類 なめし皮・同製品



恵庭RC
佐藤 竜也
入会日 9月11日
職業分類 生命保険



岩見沢東RC
小倉 雅子
入会日 9月17日
職業分類 葬祭業

訃 報

慎んでお悔やみ申し上げますとともに
心からご冥福をお祈り申し上げます

阿彦 治 会員

(函館五稜郭RC)



2013年10月5日逝去
(享年63歳)

【ロータリー歴】

1994年11月25日	入 会
2002~03年度	幹 事
2005~06年度	S A A
2008~09年度	会 長
2013~14年度	幹 事

【表彰関係】

ポール・ハリス・フェロー
米山功労者マルチプル

地区組織図の変更について

・地区ローターアクト委員会について

川本康裕会員(室蘭北RC)が新たに選出されましたのでお知らせ致します。

勤務先: 医療法人社団川本歯科医院 院長

〒050-0074 室蘭市中島町2丁目11-14

電話0143-45-0656 FAX0143-45-0656 E-mail:kawamoto.dental-s.54@energy.con.ne.jp

クラブ幹事の変更について

函館五稜郭RCの現幹事が逝去致しましたため幹事を下記の方に変更致しました。宜しくお願い申し上げます。

能戸 彰会員:(株)小南建築設計事務所 代表取締役 (職業分類: 建築設計)

〒040-0004 函館市杉並町16-13

電話 0138-52-2023 FAX 0138-52-2024

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

砂川RC	杉本 勉	会員 (2回)	9月27日
砂川RC	竹田 俊一	会員 (2回)	9月27日
札幌はまなすRC	佐藤 一	会員 (4回)	9月4日
札幌はまなすRC	徳物 葉子	会員 (1回)	9月4日
札幌はまなすRC	戸部アナリア	会員 (4回)	9月4日
札幌南RC	朝妻 邦雄	会員 (4回)	9月26日
札幌南RC	福山 耕司	会員 (1回)	9月26日
札幌南RC	服部 信吾	会員 (3回)	9月26日
札幌南RC	今井 國雄	会員 (5回)	9月26日
札幌南RC	稲津 亘	会員 (1回)	9月26日
札幌南RC	松原 良次	会員 (1回)	9月26日
札幌南RC	三浦 義昌	会員 (2回)	9月26日
札幌南RC	中道 博	会員 (2回)	9月26日

札幌南RC	大谷 莊佐	会員 (1回)	9月26日
札幌南RC	佐藤源五郎	会員 (9回)	9月26日
札幌南RC	山谷 英一	会員 (1回)	9月26日

米山功労クラブ

札幌南RC 39回 9月26日

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

美唄RC	武市 雄弘	会員 (1回)	9月
栗沢RC	鈴木 正夫	会員 (3回)	9月

ポール・ハリス・フェロー

美唄RC	岸山 一郎	会員	9月
美唄RC	早河 常機	会員	9月

ベネファクター

美唄RC	宝崎 錠二	会員	9月
------	-------	----	----

2016-2017年度 ガバナー・ノミネー候補者推薦のお願い

地区ガバナー 安孫子 建 雄
地区ガバナー指名委員長 佐々木 正 丞

2016-2017年度地区ガバナー・ノミネー候補者として適格な会員があり、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区内クラブは、12月1日必着にて、地区ガバナー指名委員長（地区ガバナー事務所気付）宛、文書（書式任意）をもってご推薦下さい。

なお、地区ガバナー・ノミネー資格条件については、国際ロータリー細則第15条第7節1項～5項及び第8節の資格条件に適していることを要します。

[参考] 国際ロータリー細則第13条（ガバナーの指名と選挙）

国際ロータリー第2510地区 地区ガバナー指名委員会規定
(1998-1999年度地区年次大会決議第8号)



「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー最近の文献より

書名	著者/出版社	発行年	頁
「われらは地球の相乗り客」(D. 365月信)	ジョージ・ミーンズ	1970	1P
「どこに差があるか？」(D. 365月信)	ジェームズ・コンウェイ	1970	1P
「ロータリーの魅力は童心と微笑」(D. 365月信)	塚本義隆	1970	1P
「ホームクラブへ出席がなぜ大切」(D. 365月信)	塚本義隆	1970	1P
「ロータリーの目的は4つある？」(D. 2840月信)	本田博己	2013	2P
『奉仕の理想』ってどういう意味？そして、『超私の奉仕』とはどういう関係？」(D. 2840月信)	本田博己	2013	4P
「職業奉仕とロータリーの魅力」(D. 2730月信)	大迫三郎	2013	2P
「会員増強月間」(D. 2710月信)	沖田哲義	2013	1P
「幹事心得10箇条」(D. 2720地区協議会プログラム)	岡村泰岳	2013	1P
「ロータリー徽章に隠された秘密」 (ロータリーこぼれ話)	山本正治	2013	2P
「国際貢献と二つの奉仕理念」 (2680地区研修セミナー講演集)	石井良昌	[2013]	9P

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階 TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506
開館：午前10時～午後5時 休館：土・日・祝祭日 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

地区カレンダー

11~12月

11月 ロータリー財団月間	
1(金)	
2(土)	
3(日)	文化の日
4(月)	振替休日
5(火)	公式訪問(札幌清田RC、札幌セントラルRC)
6(水)	
7(木)	公式訪問(札幌東RC)
8(金)	公式訪問(札幌幌南RC)
9(土)	公式訪問(札幌手稲RC) ローターアクト地区協議会(室蘭)
10(日)	
11(月)	公式訪問(札幌南RC)
12(火)	公式訪問(札幌西RC)
13(水)	公式訪問(札幌RC)
14(木)	公式訪問(札幌西北RC、札幌大通公園RC)
15(金)	
16(土)	森RC創立50周年記念式典(森) 米山学友会(北海道)総会・懇親会(札幌)
17(日)	
18(月)	公式訪問(札幌北RC)
19(火)	公式訪問(岩見沢東RC)
20(水)	
21(木)	公式訪問(岩見沢RC)
22(金)	
23(土)	勤労感謝の日 第3グループIM(美唄)
24(日)	ロータリアンのための新世代(青少年)会議 (札幌)
25(月)	
26(火)	
27(水)	
28(木)	公式訪問(江別RC)
29(金)	
30(土)	

12月 家族月間	
1(日)	ロータリー財団地域セミナー(東京)
2(月)	第2回ガバナー・エレクト研修セミナー(東京) 第2回ガバナー会(東京)
3(火)	~4(水)ロータリー研究会(東京)
4(水)	
5(木)	
6(金)	
7(土)	2014-15年度ガバナー補佐会議(札幌)
8(日)	
9(月)	第2回ガバナー指名委員会(札幌)
10(火)	
11(水)	
12(木)	
13(金)	
14(土)	地区財団資金管理セミナー(札幌)
15(日)	シドニー国際大会第一次登録締め切り
16(月)	
17(火)	
18(水)	
19(木)	
20(金)	
21(土)	
22(日)	
23(月)	天皇誕生日
24(火)	
25(水)	
26(木)	
27(金)	
28(土)	
29(日)	
30(月)	
31(火)	

2013年11月のロータリーレート 1ドル100円

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			2013.7.1	2013.9.30	増減	内女性	
1	深川	4	32	34	2	2	90.45
	羽幌	4	45	48	3	2	75.00
	妹背牛	4	10	12	2	0	85.41
	留萌	4	39	39	0	3	80.47
	小計		126	133	7	7	82.83
2	赤平	4	30	30	0	0	76.29
	芦別	4	36	40	4	2	73.03
	砂川	4	44	45	1	0	97.45
	滝川	4	80	84	4	2	73.00
	小計		190	199	9	4	79.94
3	美唄	4	28	31	3	0	87.95
	江別	4	35	35	0	1	82.15
	江別西	4	26	26	0	4	92.30
	岩見沢	4	76	77	1	0	87.80
	岩見沢東	4	22	23	1	3	83.10
	栗沢	4	23	23	0	1	95.50
	栗山	4	23	23	0	3	97.83
	当別	4	28	28	0	1	90.87
	小計		261	266	5	13	89.69
4	札幌	4	115	122	7	0	98.06
	札幌はまなす	4	13	13	0	2	90.39
	札幌北	3	33	33	0	4	91.11
	札幌モーニング	4	47	48	1	0	69.15
	札幌西	4	52	52	0	7	85.50
	札幌西北	4	32	33	1	3	83.10
	札幌手稲	3	32	35	3	3	93.22
	小計		324	336	12	19	87.22
5	札幌東	4	117	117	0	0	99.07
	札幌清田	3	19	19	0	5	100.00
	札幌幌南	4	52	57	5	2	98.67
	札幌真駒内	4	20	20	0	3	100.00
	札幌南	3	80	80	0	0	100.00
	札幌大通公園	4	14	15	1	1	63.32
	札幌セントラル	4	6	5	-1	2	90.00
	新札幌	4	23	25	2	3	89.61
小計		331	338	7	16	92.58	
6	岩内	4	20	20	0	1	69.72
	倶知安	4	37	41	4	6	76.30
	小樽	4	69	73	4	0	85.00
	小樽南	4	69	69	0	2	91.58
	小樽銭函	4	21	21	0	2	86.60
	蘭越	3	11	12	1	0	100.00
	余市	4	41	45	4	4	75.30
	小計		268	281	13	15	83.50

9月出席率・ 会員増減数	クラブ数	71クラブ
	期首会員数	2,514人
	当月末会員数(女性)	2,592人(118人)
	増加会員数	78人
	当月平均出席率	84.32%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			2013.7.1	2013.9.30	増減	内女性	
7	千歳	4	50	54	4	3	93.70
	千歳セントラル	3	31	33	2	3	87.88
	恵庭	4	40	44	4	3	78.59
	北広島	4	16	17	1	1	92.65
	長沼	3	20	20	0	3	73.00
	由仁	4	7	7	0	0	57.14
小計		164	175	11	13	80.49	
8	えりも	4	21	22	1	1	96.59
	三石	3	15	15	0	2	73.40
	様似	4	24	24	0	1	75.00
	静内	4	65	66	1	0	70.00
	浦河	4	28	27	-1	1	93.52
	小計		153	154	1	5	81.70
9	伊達	4	53	54	1	0	81.48
	室蘭	4	37	39	2	0	86.85
	室蘭東	4	35	36	1	0	88.10
	室蘭北	4	32	35	3	2	77.71
	登別	4	31	31	0	1	83.87
	洞爺湖	3	8	8	0	0	100.00
小計		196	203	7	3	86.34	
10	函館	4	85	86	1	0	78.84
	函館亀田	3	39	40	1	4	96.58
	森	4	41	41	0	0	72.00
	七飯	4	18	18	0	0	83.30
	長万部	3	9	10	1	0	73.30
	函館セントラル	4	25	25	0	2	66.26
小計		217	220	3	6	78.38	
11	江差	4	11	11	0	1	75.00
	函館五稜郭	4	47	49	2	0	86.37
	函館東	4	48	48	0	6	71.62
	函館北	4	22	22	0	0	94.51
	北斗	4	15	15	0	0	60.00
	松前	4	4	4	0	0	75.00
小計		147	149	2	7	77.08	
12	白老	4	29	30	1	1	82.00
	苫小牧	4	52	52	0	2	79.39
	苫小牧東	4	26	26	0	4	88.46
	苫小牧北	4	30	30	0	3	90.05
	小計		137	138	1	10	84.98
合 計		2,514	2,592	78	118	84.32	



平成2年に由仁町岩内にてマンモス象の骨が発掘されました。クラブ設立と時期が重なりマンモスの絵柄を中心に描き、バナー下の方の山は夕張の山を想定し、白いうねった線は夕張川をイメージして夕張川の畔に位置する由仁町をイメージしております。



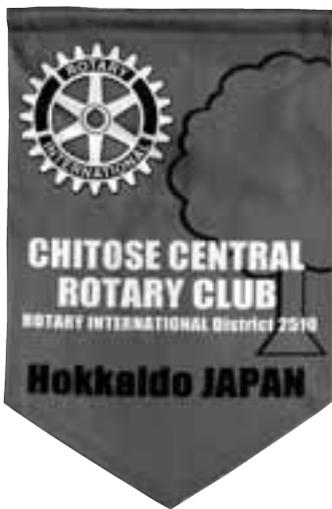
北海道の玄関口「函館」はエキゾチックムード溢れる港町どこを切り取っても絵になる風景が続くウルトラマリブルーの空と海が広がる季節！鈴蘭の花の清楚な香りが北国の初夏の訪れを告げ、待ちかねたように一勢に種々の花が咲き揃う。華やかさはないけれど、野辺にひっそり咲く白い花「すずらん」

そんな清やかさをバナーにのせて皆様への歓迎の心を伝えます。

デザイン 大橋弘子



「アポイの樹風（こかぜ）吹く街」黒潮の太平洋と親子岩アポイ山麓にすむえぞしかを描き、町のシンボルでもあるアポイ岳（日本ジオパーク認定）様似町の豊かな自然を表現できればと、デザイン作成しております。



クラブ設立時に製作したバナーは、空港のまちを象徴する管制塔と航空機、雄大な樽前山と支笏湖を表したものでした。しかし、樽前山は千歳市だけではなく苫小牧市にも裾野を広げる山であることから、2007年、環境問題をテーマにしたころを機に現在のバナーに変更。緑を基調に樹木を配したデザインとしました。

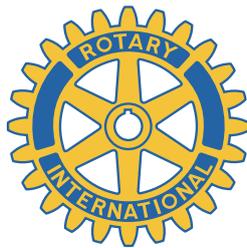


創立70周年を記念してつくられた五代目のバナー。

テリトリー内にある時計台をデザインしている。この時計台のデザインは昭和32年の創立25周年を記念して北海道のデザイン界の第一人者として活躍されていた栗谷川健一氏にデザインしてもらったものである。



現在のバナーは「人と自然の調和」と北海道をイメージさせ、特に札幌南ロータリークラブのエリアである豊平地区に馴染みの深いクラーク博士像、羊、りんご、豊平川のサケを図案化いたしました。サケの青は札幌市の母なる川、豊平の「水」を、リンゴの赤は「太陽」のイメージで、羊の白は澄み切った「空気」を表現。クラーク博士は「人」を表しました。人間にとって必要な「水」、「太陽」、「空気」はそのままロータリークラブの存在につながります。また4つの図案は「四つのテスト」であります。



ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を

**GOVERNOR'S MONTHLY LETTER
2013-2014 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510**